

編集後記

現在、多くの病院で緊急検査が施行されているが、検査項目や検査法はまちまちであり、かつ各種異なった機器・試薬が使用されている。また、緊急検査を行う臨床検査技師もルーチンとは別の検査をすることになり、日ごろ慣れていない検査を緊急に行わなければならない状況にある。最近は緊急検査項目も増えてくる一方であるし、検査法も日進月歩である。しかし、このような変化の激しい環境で、救急や重症の患者に、常に精度の高い緊急検査結果を提供することが検査室に要求されている。

本増刊号はこのような緊急検査の状況の中で、“より迅速に、より精度の高い緊急検査が実際にできるように”という意図で企画された。時代に即した検査書であると考えているが、いかがなものであろうか。

序文にあるように、本書では実際の技術は検査技師の方に、臨床的な部分は医師に執筆していただいた。医療上の緊急事態はまさに“待ったなし”であり、実用的なところが極めて重要である。そういう意味では、各執筆者が実際に書かれている点は大変役だつと思っている。

なお、本書では、できるだけ一般的な検査方法や機器・試薬あるいは基準値を用いるよう配慮しているが、すべての検査室がここに記載されている内容で緊急検査を行っているわけでもない。その辺はそれぞれの施設で使用している検査の最も近いものを参考にいただければ幸いである。

また、基準値についても執筆者の施設で用いられているものが書かれているので、若干不統一の箇所がある。例えば、技術編で記載されている基準値と臨床編で記載されている基準値が異なっている場合がある。ただ、現在、わが国において明確な基準値が設定されていない状況である限り、統一するのは所詮無理がある。また当然、各施設での基準値も本書のものとは違っていると思われるので、あえてすべての基準値を統一してはいない。その点はご理解いただきたい。

緊急検査が普通の検査と異なる点は迅速性を要求されることである。しかし、慣れない検査をする場合、えてして慎重になり、正確性が重要視され、報告が遅くなる場合もある。気持ちはよく理解できるが、一方で患者は“診断・治療を一刻も早く行ってほしい”と待っているわけで、素早く検査を行うことが大切であることを忘れないでいただきたい。

また、患者がどういう状態にあるかは、検査室では的確に把握できないので、本書の臨床編を時間のあるときに読んで、日ごろから緊急患者の病態を勉強しておくことも重要と考える。

最後に、本書が緊急検査を行う方々の座右の書になることを祈念するしだいである。

(渡辺清明)

検査と技術

1999年6月15日発行(毎月1回1日発行)

1部定価(本体5,000円+税)(配送料148円)

年ぎめ予約購読料18,540円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3
電話 本誌編集室直通(03)3817-5713
ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982
E-mail: kensa@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03)3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印刷 三美印刷(株) (03)3803-3131
広告申込 ㈱東広社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1999, Printed in Japan. 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

R <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は<http://www.igaku-shoin.co.jp>です。

(担当 鋤柄・佐々木・向山)